

「第 1 回 T R I Z シンポジウム」への参加のご案内

2005 年 6 月 9 日 [更新: 2005. 7. 20]

日本 T R I Z 協議会

第 1 回 T R I Z シンポジウム

プログラム委員長

中川 徹 (大阪学院大学)

創造的な技術革新の技法「T R I Z」について、広く発表・討論・交流するために、このたび、「日本 T R I Z 協議会」が主催して、表記のシンポジウムを開催いたします。発表を公募いたしました結果、国内および海外からも多数の発表をいただけることになり、下記のように充実したプログラムとなりました。つきましては、企業・大学・その他の組織で T R I Z を導入・推進・適用などを試みておられる皆様に、ぜひ奮ってご参加いただきたくご案内いたします。多数の発表と質疑応答、また、多くの仲間の人たちとの討論と交流を通じて、新しい考えと実践する力を得ていただけるものと信じます。

記

1. 第 1 回 T R I Z シンポジウムの概要

日時： 2005 年 9 月 1 日 (木) 午後 2 時 ~ 3 日 (土) 午後 3 時 [2 日半]

会場： ラフォーレ修善寺 (静岡県伊豆市)

<http://www.laforet.co.jp/lfhotels/szk/>

〒410-2415 静岡県伊豆市大平 1529 TEL : 0558-72-3311

主催： 日本 T R I Z 協議会

趣旨： 創造的な技術革新の技法「T R I Z」とその関連分野の普及・推進を図る。
T R I Z に興味をもつ人々が一堂に会する場を作る。
発表・討論・展示・交流などを通じて、相互の理解と実践の向上を図る。

特徴： 日本の T R I Z 関係者のほとんどが一堂に会します。
企業ユーザ、研究者、ベンダー、コンサルタントなどすべてが集まります。
世界のリーダー Darrell Mann を初め、海外からも参加・発表があります。
基調講演 2 件の他、全体での一般発表 12 件 (各 40 分) があります。
T R I Z の主要 4 ベンダーが揃い、それぞれ発表とデモがあります。
ポスター発表のセッションでは、発表者とじっくり質疑・討論ができます。

食事や交流会での自由で活発な討論をもとに、最後に総合討論を行います。泊まり込みのカンヅメですから、非公式の討論・交流も活発で、有益です。あなたがTRIZの普及・適用に、悩みを持っておられたら、尋ねてみてください。経験・成果を得ておられたら、話してみてください。

2. プログラムの概要と形態

プログラムの概要 (別紙 1 参照) [更新: 2005. 7.19]

プログラムの 発表内容の紹介 (別紙 2 参照) [更新: 2005. 7.19]

各セッションの企画と形態:

- ・ 挨拶: **日本 TRIZ 協議会と TRIZ シンポジウム**について
- ・ 基調講演: 中川 徹 (大阪学院大学) 新しい世代のやさしい TRIZ (70 分)
Darrell Mann (英国) TRIZ Critical SWOT: Systematic Innovation
Today and Tomorrow (80 分) スライド和訳配布、通訳なし。
- ・ 一般発表: 公募によるもの。12 件 (国内 9 件、海外 3 件)。発表 30 分 + 質疑 10 分。
TRIZ の推進活動、適用方法、適用事例、他の技法との統合など。
- ・ ポスター発表: 公募によるもの。現在 5 件、追加発表募集中。複数並行で 80 分。
壁面などに発表スライドを印刷して貼り、展示・デモもできる。
随時訪れる参加者に、比較的短時間の説明をし、質疑応答する。
なお、事前に全員の前で簡単に紹介する時間をもつ。
- ・ ベンダー発表とデモ: **日本における TRIZ の主要 4 ベンダー**に、「TRIZ をどのように適用し、どのように推進することを薦めているのか?」を話してもらう。
時間は各々 発表 22 分 + 質疑 3 分、**その後、総合質疑応答 20 分**。
各ベンダーは展示・デモなどのコーナーを持つ。
ポスターとデモのセッション、および他の休憩時間などを活用する。
- ・ 交流会: 夕食後の時間 (90 分と 120 分) に、自由参加で討論・交流する。
主として TRIZ の推進法に関心のある人たちの部屋と、主として TRIZ の
適用法に関心のある人たちの部屋を それぞれ複数作る予定。
テーマの提案があれば歓迎します。
- ・ 総合討論: 第 3 日最後の 1 時間。シンポジウムの全体を締めくくる議論をする。
「日本における TRIZ の普及・推進・適用のしかたについて」
- ・ Proceedings: 全発表の概要 (各 1 ページ) と発表スライド (および希望者の論文) を
印刷して、当日、参加者に配布する。
また、後日 Web サイトなどに掲載予定。

3. 会場とそのアクセス

会場: **ラフォーレ修善寺 Web サイト参照** <http://www.laforet.co.jp/lfhoteles/szk/>

アクセス: 電車: 東海道新幹線 三島駅 乗り換え
伊豆箱根鉄道 三島駅 --> 修善寺駅 (約 35 分);

修善寺駅より 無料送迎バス (約 25 分) またはタクシー (約 20 分)

参考時刻表 (7 月現在の時刻表による):

往路 9月1日(木)	東京 方面から	新大阪 方面から
東京/新大阪発	11:23 こだま	9:19 ひかり 406号
三島駅着	12:27	11:30
三島発 (伊豆箱根鉄道)	12:38 (普通)	
修善寺 着	13:11	
修善寺 発 (送迎バス)	13:15	
ラフォーレ修善寺 着	13:40	

復路 9月3日(土)	東京方面へ	新大阪方面へ	
ラフォーレ修善寺 発 (送迎バス)	15:15		
修善寺 着	15:40		
修善寺 発 (伊豆箱根鉄道)	15:56 (普通)		
三島 着	16:28		
三島駅発 (東海道新幹線)	16:54 こだま 580号	17:00 こだま 549号	17:50 ひかり 421号
東京/新大阪着	17:56 東京着	19:56 新大阪着	19:59 新大阪着

4. 参加申込み要領: (詳細は別紙 3 参照)

定員 約 120 名、先着順。

参加費: 全日参加 (2泊3日) 59500 円

[注意: 宿泊の個室希望の場合の割り増し、部分日程の参加などは別紙参照]

申込み先: 日本 TRIZ 協議会事務局 担当 SKI 堀田政利 Email: info@triz-jp.com

申込み締切: 8月18日(木) 17:00

申込み: 別紙 3 の書式に記入の上、Email または FAX で。